

第41号 発行：平成30年4月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：172名(平成30年3月末現在)

(家族会員=17名、個人会員=155名)

発行責任者：飯田 秀

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町383

松浦武四郎記念館内

「友の会」のHPは、松阪市の中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

新年度の挨拶

会長 飯田 秀



新年度を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

平成30年度は、松浦武四郎生誕200年・北海道命名150年・我々「友の会」設立10周年と記念すべき年ですから、変革の1年と考え会員のニーズはどこにあるか、チェック・アクションを重視してコミュニケーションのスキルをアップさせて、活動や仲間づくりに活かしたい。

友の会設立以来、蝦夷山桜の植樹と育成管理に努め昨年は4本の桜が満開となり、北海道命名150年の関係で、北海道新聞社から取材を受けまして、会長としての思いを2月の新聞には大きく掲載されました。これからも育成管理を重視し役員が中心となって12本の桜が満開になることで、北海道との架け橋が深まることを願っています。

松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会では、会長である私が「友の会」を代表して記念事業に取り組み「武四郎の足跡を訪ねるバスツアー」を担当し、一昨年友の会27名で大杉谷を訪問したのが、ご縁で大杉谷へ武四郎看板が建立されることから、4月10日にはマイクロバスで除幕式への出席と武四郎の足跡を訪ねます。

今後も「武四郎が訪れた大杉谷」を多くの方々への発信に努めていきたいと思っております。友の会会員も170名を超え、設立10周年と云うことから、記念事業を視野に入れ役員10名とも協議をもちながら、会員さん方に親しんで頂ける行事に取り組んでいきたいと思っております。

今後とも友の会会員さん初め皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

エゾヤマザクラについての経緯

当時、北海道新聞社では道内各地を桜の名所にしたいとの趣旨で「千本桜運動」として毎年合計千本を道内の希望する個人や団体に贈っていました。

武四郎の久摺(くすり)日誌には蝦夷地探索中に弟子屈で泊まった際に、月夜に外へ出ると桜が咲き、そこへ雪が降る光景を歌に詠んでいますが、その桜が真にエゾヤマザクラです。

そこで、記念館の近くに植樹し、将来はエゾヤマザクラの名所にし、花見を実施して武四郎さんを偲ぶことができるようにしたい」との意見が出ました。

北海道以外のところに贈られることはなかったのですが、「武四郎さん」の生まれた土地だということもあり、経営企画室の武野伸二さん(親しい人は『たけやんと呼ぶとのこと』)や藤原聡さんのご尽力で実現しました。

総会の予定

5月13日(日)の武四郎講座の後(11時頃から)平成30年度総会を開催いたします。多くの会員にご出席いただき、活発な意見・提案に期待します。



みんな、
総会に
来てね!

エゾヤマザクラの花の見頃時期について

(記念館北側の広場に 9 本と

小野江小学校のプール横に 3 本)

毎年 4 月 10 日～20 日頃に見頃を迎えています。

この「エゾヤマザクラ」は平成 20 年に北海道新聞社から贈っていただき、友の会として育ててきました。

多くの方々に、是非ご覧いただくと共に、広めていただきたいと思います。



花が咲くと同時に
濃い赤色の葉も出ます。

「ときめき高虎会」との交流会実施

平成 30 年 2 月 3 日に「ときめき高虎会」との交流会を実施し、「ときめき高虎会」からは 8 名、友の会からは 13 名の参加でした。

最初に記念館の中野館長からお越し頂いた事へのお礼と武四郎の足跡について説明がありました。友の会からは、飯田会長から最近の活動状況について説明があり、続いて、高虎会の赤塚副代表から高虎の足跡や会の活動について説明がありました。

意見交換では、高虎会の谷岡さんから、発足当時の経緯や会への思いを述べられました。出席者から相互に質問や会への思い・今後の活動について意見がありました。

その後、エゾヤマザクラの植樹場所へ移り、植樹に至った経緯について説明し、最後に友の会が建立した「武四郎が詠んだ和歌の碑」の周りに集まり記念写真を撮りました。



活発な意見が出ました！

いつきのみや梅まつりで、松浦武四郎記念館友の会活動展示実施！！

恒例となった「いつきのみや梅まつり」は 3 月 3 日に斎宮歴史博物館南側の梅林周辺(通称：ふるさと芝生広場)にて、開催され、約 3000 人の来場者がありました。

メイン会場では開会式の後、業平夢太鼓の演奏、斎王の舞、斎王との記念撮影などが行われました。広場では、恒例の「梅の種飛ばし大会」、紙芝居、バルーンアート、苗木の無料配布、特産品の販売等が行われました。また、今年は熱気球の乗船体験の場所を梅まつり会場の近くになり、約 240 名の方が乗船されました。

友の会としては、テントをお借りして「友の会の活動展示」や、武四郎の業績の紹介を行うと共に、今年(2018 年=平成 30 年)は、武四郎が明治政府に対し蝦夷地の地名を「北加伊道」と提案して 150 年目になること、武四郎が生まれて 200 年の節目を迎えることなどの説明を行いました。

また、武四郎が大台ヶ原を拓いた際に通り泊まった大杉谷へ記念の看板を 4 月 10 日に立てる



友の会コーナーの設置状況

ことから、当時の大杉谷と武四郎の関わりなどの説明を行いました。

友の会主催の武四郎講座実施

恒例となりました 株式会社 坂田 墨珠堂様による第5回目の講座は、2月11日に嘉門一彦主任技師に「文化財の調査と修理技術～重要文化財 松浦武四郎関係資料の修理を通して～」と題してお話をいただきました。

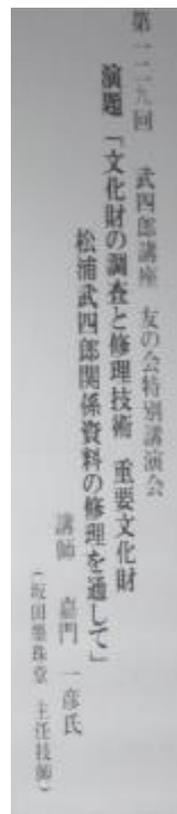
講演後は修理の道具に触れる等体験学習を受けました。



坂田社長



講義される嘉門主任技師



オープニングイベントの報告

武四郎生誕200年記念事業のスタートの一環として、オープニングイベントが農業屋コミュニティ文化センターにて、2月24日午後開催されました。

主催者挨拶及び来賓挨拶の後、武四郎の直系子孫の松浦一雄さん、実家の子孫の松浦ともさんへ小野江小学校6年生による花束贈呈とメッセージが届けられました。

引き続き、静内民俗文化保存会による「アイヌ古式舞踊」、劇団ドラマシティによる劇が行われ、アイヌ文化を伝承している宇梶静江さんご子息の宇梶剛士さんとのトークセッションが行われました。宇梶静江さんは武四郎が残してくれた記録が当時のアイヌ民族の実態を詳しく書かれており、それが世界中の先住民族の権利を見直すきっかけになっていると、強調されました。剛士さんはその子孫と言う立場で、未来志向の考えを会場に伝えました



アイヌ古式舞踊



アイヌの生活を聞いて記録する
武四郎(ドラマシティによる劇)



宇梶静江さんと宇梶剛士さんの
トークセッション

「武四郎まつり」が賑やかに開催されました！！

平成30年2月25日(日)に第23回武四郎まつりが開催され、好天に恵まれ松阪市内外から約6,400名の方が来られました。

開会式には、竹上真人松阪市長の主催者としての挨拶があり、田村憲久衆議院議員、吉川有美参議院議員、窪田北海道副知事、加藤忠北海道アイヌ協会理事長、テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会加藤剛士会長(名寄市長)、佐近勝音威子府村長、鈴木英敬三重県知事始め多くの方が来賓としてお越しいただきました。式の後、記念館前の特設舞台で地元の三雲中学校による吹奏楽の演奏、小野江小学校の児童による武四郎学習の発表が行われました。

引き続き、まつりの目玉の一つである静内民俗文化保存会によるアイヌ古式舞踊が行われ、午後

なって、三雲中学校生徒による踊り、たけちゃんとのジャンケン大会、劇団ドラマシティによる寸劇「郷土の偉人・松浦武四郎～武四郎の道は未来へと続く～」、しょんがい保存会による「松浦武四郎」一代記のイベントが行われました。

最後には、お菓子まきもありました。

記念館内及び入り口周辺では館内展示、武四郎クイズ、友の会の活動の展示・啓発などが行われました。友の会としては、クイズや書籍の販売及び会場の案内と武四郎の足跡について来場者に説明しました。お手伝いいただいた方々にお礼申し上げます。



友の会コーナーでお手伝いいただいた方々
(背景は友の会活動の展示)



生家の離れで「がいなもん武四郎」の
作者＝河治和香さんによる説明

【記念館よりのお知らせ】

- ☆生誕 200 年記念講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります
- 第2回 5月13日(日)10:00～ テーマ：松浦武四郎の生涯 講師：山本命主任学芸員
- 第3回 6月10日(日)10:00～ テーマ、講師は未定
- 第4回 7月8日(日)10:00～ テーマ：大杉谷と武四郎 講師：大杉谷村田稔区長
(大杉谷地域おこしの会 代表)

☆展示のご案内

- ◆武四郎を生んだ松浦家 ～ 4月22日(日)まで
武四郎の実家に残されていた武四郎に関する資料を初公開します。
- ◆武四郎と旅 4月24日(火) ～ 6月24日(日)まで
武四郎と江戸時代の旅について紹介します。
- ◆描かれたアイヌ民族 6月26日(火) ～ 8月26日(日)まで
江戸時代のアイヌ民族の姿を描いた絵を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

年会費の納入についてのお願い

新年度が始まりました。平成30年度の年会費(個人会員 500 円、家族会員 1000 円)を、役員又は記念館事務局へ5月末までに納入して頂くようお願いいたします。

「松阪の偉人たち」展(松阪偉人顕彰団体協議会主催)について

松浦武四郎記念館友の会としては武四郎の功績、友の会活動の展示をします。

期間：平成30年7月4日(水)～8日(日) 時間：午前9時半～午後4時半

初日のオープニングセレモニーは10時～10時半 ※最終日は午後3時まで

開催場所：松阪市文化財センター 第1～第3ギャラリー

